

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス いまラボキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		2025年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		2025年 1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童と職員が1対1の個別療育ですので、個々の児童に合わせた療育内容になっています。	保護者からのご要望、児童の新しい困りごとを即時に共有いただける様、常日頃、積極的にコミュニケーションを図っております。	職員間で、一人ひとりの児童に対し、より良い支援になるよう、今後も職員間で協議を続けます。
2	保護者からのご要望、児童の新しい困りごとに対して、情報共有をいただいております。そして、そのご要望等に対し、すぐ支援内容に反映しております。	面談時だけでなく、日々の送迎時、お電話、メール、LINEなどを活用して可能な限り細やかに個々のご要望に応えてきました。	日々の記録内でのやり取りに、職員からも積極的に記入するよう心掛ける等、保護者からのご要望を伝えやすい環境づくりに努めます。
3	ご希望者に対して、療育内容の教材をお持ち帰りいただき、支援内容を見ることが出来る取組をしております。	保護者へ特に伝えたい内容につきましては、具体的に記入する等、より内容が伝わりやすい工夫をしております。	現在は、特記事項に対してだけの記入ですので、コメントを多く残せる様に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎車利用(座席)には限りがある。(これ以上の送迎の負担は事業所も職員も厳しい。)	送迎を希望されるご家庭が想定以上に多いのですが、自事業所の負担で送迎できる子どもの数(空席)にはもともと限りがあるので、既に送迎車(空席)は待ち状態にある。	特性上も徒歩移動が問題ない児童(高学年以上)に関しては自立通所支援などをを行い、自身の足で通所できる自信をつける支援を行い、ご自身で通所いただく。そうすることで送迎車が絶対必要(特性上、身体上または低学年)の児童に席をまわしてもらえないか。※移動支援の利用を促す。
2			
3			